

KARUIZAWA VIGNETTE

軽井沢ヴイネット 2023 下巻 VOL.133

軽井沢西移動説を探る

歴代の首相が見せた軽井沢での素顔
総理たちの夏休み

おいしい軽井沢散歩 あなたのお気に入り…
古今東西スイーツ三昧

Karuizawa life with wine

ワインのある軽井沢ライフ



対談
中川誠一郎さん
[中川ワイン]

為永清嗣さん
[ギャラリーためなが]

日本にカリフォルニア・ワインの名を伝えたワインの輸入販売を手掛ける中川ワイン。オーナーの中川誠一郎さんは旧軽井沢にワインサロンの拠点となる別荘を構えた。完成したばかりのサロンを、昨夏のポップアップでコラボした「ギャラリーためなが」のオーナー為永清嗣さんが訪問した。



上/中川さんの別荘のテラスで談笑する為永さん(右)と中川さん。緑の中に浮かぶようなテラスにはジャグジーも完備。
下/古い別荘を購入しリフォーム。景観にマッチした軽井沢らしい佇まい。

軽井沢で飲むワインは おいしい

為永さん(以下敬称略)：昨夏、ギャラリーためながのポップアップショップを立ち上げ、レセプションで中川ワインとコラボレーションすることになりました。中川さんが軽井沢でサロンを開くと聞いていたので、軽井沢の皆様を知って頂く機会になればと思ってお誘いしました。

中川さん(以下敬称略)：子どもの頃は千ヶ滝に別荘があり、軽井沢に来ていましたが、大人になってからは全く訪れていなくて。5年ほど前から別荘でのワイン会で軽井沢に来るようになり、月に何回も軽井沢を訪れているうちに、これはもう軽井沢にワインサロンのような場を作ろうと思えました。軽井沢で飲むワインは、東京よりずっとおいしい。空気がおいしいし、緑の景色を見ながら飲むと何でもおいしい(笑)。その経験を伝えたかったんです。

美術とワイン、 五感の楽しみ

為永：美術は自分の感性で見ても

ので、よくワインの話で例えて説明しますが、初めて飲む時はジュースみたいに飲みやすいものが良いかもしれないけど、ある程度色々と飲むうちに自分の好みが変わるようになる。ワインの好き嫌い、自分がおいしいと思うかどうかは、色々なワインを飲む中でわかってくる。同じように美術も自分が好きか嫌いかが大事。
美術は視覚でワインは味覚、どちらも五感での楽しみ。どんなにAIが発達しても、最後まで侵されない分野だと思います。人間の五感に関わる仕事として、ワインとアートは共通していますね。

